

に對することを得ん今や露國は次第に其勢力を滿州に扶殖し鐵道の貫通と城壁砲臺の建設等により漸く其基礎を堅うし殊に海上に於ては盛に艦隊の勢力を集中し海陸に強勢を陪從し以て我邦を威壓せんとすること最近報告の證明する所なり故に一日を遷延すれば一日の危急を加ふ然れども獨り喜ぶ刻下我軍力は彼

今や露國は實に我と拮抗し得べき成算あるに非ず然るに其爲す所を見れば或は條約を無視し或は馬賊を煽動し或は假裝以て其兵を朝鮮に容れ或は租借地を半島の要地に得んと欲するが如き傍らに與國なきが如し今日已に然り他日彼れ其強力を極東に集め自ら成算あるを知らば其爲す所知るべきのみ彼れ地歩を滿州に占むれば次に朝鮮に臨むこと火を賭るが如く朝鮮已に其勢力に服すれば次に臨まんとする所問はずして明なり故に曰く今日滿州問題を解決せざれば朝鮮空しかるべく朝鮮空しければ日本の防禦は得て望むべからず我邦上下人士が今日に於て自ら其地位を自覺し姑息の策を捨て、根底的に滿州問題を解決せざるべからざる所以洵に茲に存す今や我邦尙ほ成算あり是れ實に天の時を得たるものなり而して彼れ尙ほ未だ確固たる根據を極東に完成せず地の利全く我に在り而

之を敵とするなどいふ事柄は今日に於て言ふ可らざることと思ふ私から見るといふと日本人が移住に最適當な場所といふものは矢張り亞細亞大陸です、暹羅も是も日本人の移住に適當の場所と思ふ、けれ共是は唯今述べる事柄に餘り關係が無いから其事は成るべく略して置きます、日本人の移住に適當な場所は其外にまだ朝鮮もあり滿州もある、夫故日本人は力を盡して朝鮮及滿州に移住の便利を圖る方が宜からうと思ふ、

前にも申しました通りに日本人は帝國主義を實行するの必要がある、さうして又亞細亞大陸に日本殖民地を求むるの必要がある、さうして亞細亞大陸中でも朝鮮や滿州は最移住に適當な場所としたならば日本人はあらゆる機會を利用して其二つの場所に於て日本の國力を發展するの道を考えなければならぬと思ふ、此點から考えて見ますといふと今日が國力の發展を謀るに最好的機會と思ふです、露西亞人は滿州の野原に跋扈跳梁してさうして露西亞の兵力は薄弱なのである、日本から見たならば是は實に乘すべきの機會と思ふです、此機會に乗じて兵を擧げて露西亞を討つたならば無論日本人の方が勝つのです、斯う言ひますといふと露西亞に最負する人間は是は無名の軍であると言つて惡口を言ひますけれ共是は決して無名の軍では無い、露西亞人の行動は明かに東洋の平和を破りつゝあるものでありますから日本人は東洋の平和を維持するといふことを以て名としてそれを討つた方が宜い、日本人が兵を擧げて露西亞を討ちましても堂々たる名義の無いといふことは決して無い、東洋の平和、是は誠に堂々たる名義であります、露西亞人は滿州還付協約の趣意に従つては滿州から撤兵しなければならぬやうになつて居る、あの撤兵といふのは鐵道の守備隊までも撤兵するといふ意味である、あの

滿州問題に関する七博士の意見書、『日露開戦論纂』  
蔵原惟昶編、1903年1月